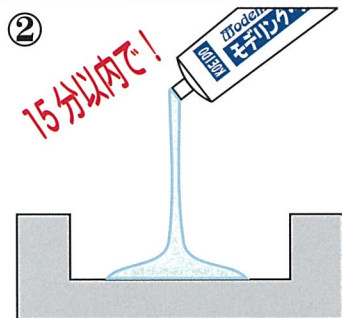


「モデリング・ウォーター」の使用方法

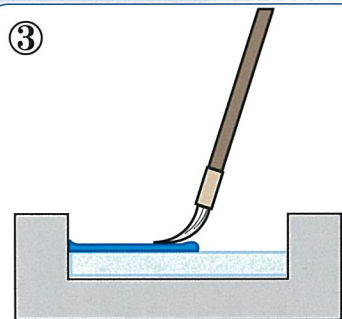


① 中身の飛び出しに注意！

キャップを外し、キャップの突起でチューブのアルミシールを静かに穴をあけます。

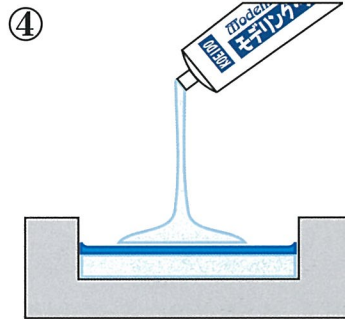


② 静かに注ぎます。気泡が残る場合は突っついて、つぶします。
(1回の注入は1cm程度の厚さで)

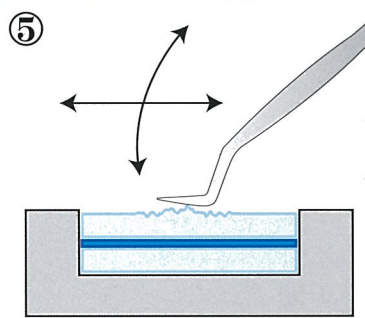


③ 着色する場合は1時間以上硬化させた後、アクリル系塗料で塗装します
(クリア系がオススメです)。

清流や小さな水たまりの表現に最適！



④ 塗料が乾燥したら、モデリング・ウォーターを重ねます。



⑤ 水の流れや波紋を表現する場合は、ピンセットなどで、注入後30分～45分の間に行います。

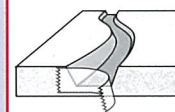
レイアウト模型・ジオラマ模型・建築模型などにオススメです。



硬化直前にピンセットでこすって、さざなみを表現してみました。



作業前に注意してほしいこと



モデリング・ウォーターが、流れ出てしまう形状の模型に注入する場合は、事前にセロハンテープなどで流出防止措置を施して下さい。また、漏れ出してしまうと床面などに付着しますと、完全に除去するのが難しいので、あらかじめ新聞紙やビニールなどで汚れないようにしてご使用下さい。



注入対象面が坂になっている。



注入対象面を水平に修正。

モデリング・ウォーターは硬化前は水アメ程度の流動性を持つ液体です。注入する模型の対象面が水平でない場合は、一番低い箇所にモデリング・ウォーターが溜まる性質がありますので、その場合は事前に、模型本体にマクラなどをあてがい対象面が水平になるように調整してください。



着色可能なので、マリンプールにもリバーグリーンにも自由自在！



— PR —

当社は、模型材料・模型素材を数多く取り扱っております。
詳しくは、光栄堂ホームページをご覧ください。

<http://www.koeido.org/>

光栄堂 で検索！